

令和5年度行政評価 施策評価シート (令和4年度実績)
 施策名 観光産業の発展

施策コード 5010101

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり (活力・賑わい)	節 第1節 観光
	施策	観光産業の発展	

基本方針

- ・「泉佐野シティプロモーション推進協議会」、「泉佐野市観光協会」を中心として、目的地となるための観光振興の組織体制を構築します。
- ・目的地となるための観光地経営をめざして、イノベーションを起こす人材の育成を実現するために、観光関連団体において、人材育成の動きが自立的かつ持続的に発展する環境の整備を支援します。
- ・訪日外国人旅行者の滞在時の快適性及び観光地の魅力向上並びに観光地までの移動等の円滑化を図るため、多言語による案内をはじめとする受入環境整備に取り組みます。
- ・「K I X 泉州ツーリズムビューロー」と連携し、広域的に観光振興事業を行い、泉州地域への誘客に努めます。
- ・豊富な観光資源を活用した市民団体等の主催イベントを側面的に支援します。
- ・SNS等を活用して、市の魅力や観光情報をリアルタイムに市内外へ発信し、観光客の誘致に努めます。

現況と課題

- ・訪日外国人旅行者は着実に増え続けており、観光関連産業の活性化が期待されています。
- ・日本版DMO「泉佐野シティプロモーション推進協議会」は、市や観光協会と連携し、本市のまちの活性化に取り組んでいます。
- ・日本版DMOを中心とした組織体制の構築のため、官民連携した効果的な役割分担をしていく必要があります。
- ・観光産業の活性化が期待される中、目的地となるための観光地経営を担う人材を育成していく必要があります。
- ・訪日外国人旅行者のさらなる増加に向けて、訪日外国人旅行者が快適に観光を満喫できる環境を整備していく必要があります。
- ・堺市以南の9市4町で設立した地域連携DMO「K I X 泉州ツーリズムビューロー」で広域的に観光振興事業を行うことにより、訪日外国人旅行者の泉州地域への誘客が期待されています。
- ・観光協会等と連携して、自然、歴史、文化等の豊富な観光資源をいかしたイベントの開催や支援を行うことにより、一定の集客を確保していますが、市内の歴史ある伝統文化を活用した賑わいを創出するとともに、地域コミュニティを維持・形成していく必要があります。
- ・観光関連団体と連携して、市内の宿泊・観光施設との情報のネットワークを構築し、まち処や観光情報センター、インターネット、SNS等を活用したリアルタイムな観光情報の提供に努めるとともに、訪日外国人旅行者に対する情報発信として多言語による案内にも取り組んでいく必要があります。

施策目標
 対象 (誰を、何を、どこを)

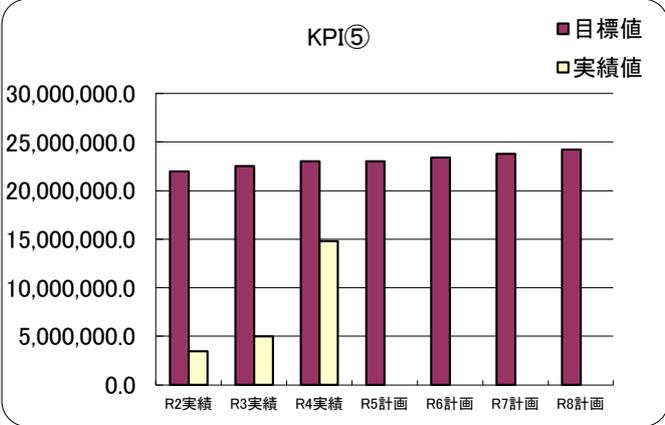
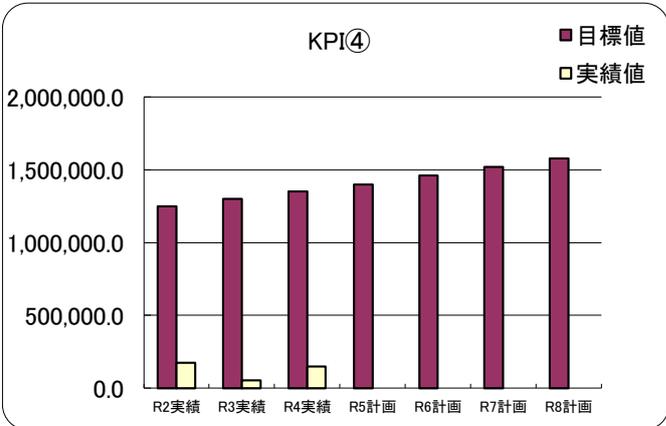
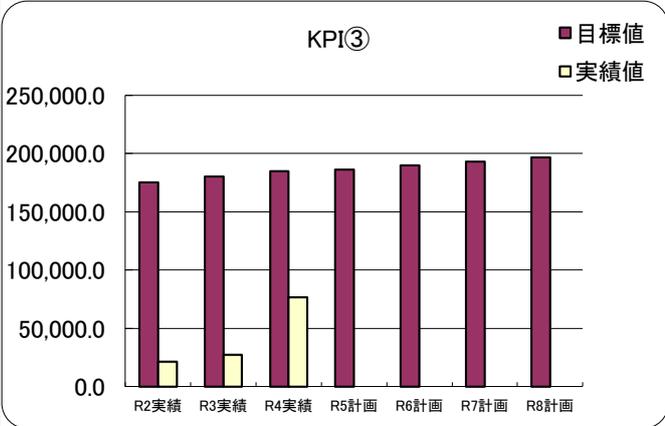
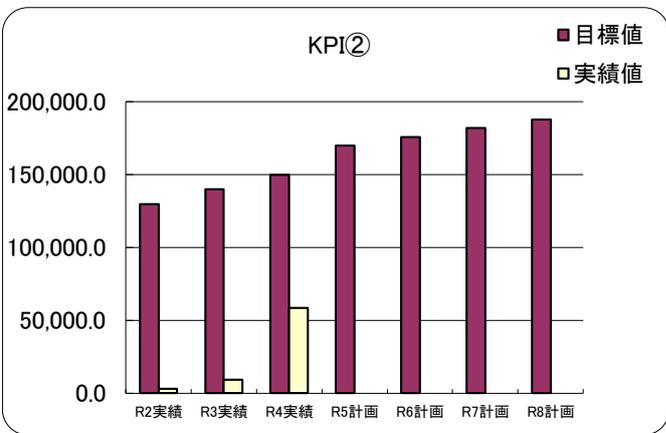
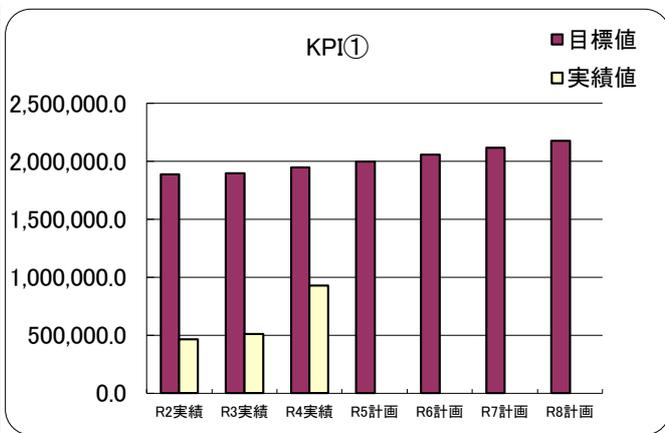
訪日外国人観光客、国内観光客、地域事業者

意図 (どのような状態にしたいのか)
 関西、日本各地、海外から多くの人々が訪れるよう、泉佐野の特色や魅力を活かしつつ集客力の向上を図り、人々の交流を生み出します。

3. 市民ニーズ								
		H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)		38.4						
重要度 (偏差値)		35.8						

4. 施策にかかるコスト							
	単位	R3決算	R4決算				
コストの内訳	人件費	千円	28,349	30,291			
	事業費		122,330	211,080			
	フルコスト		150,679	241,371			
財源内訳	国庫支出金	千円	43,901	40,955			
	府支出金		476	597			
	市債		0	0			
	その他		64,344	148,773			
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		41,958	51,046			
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		13,609	20,755			

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 市内の年間宿泊者数 (延べ数) 【暦年値】							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	1,890,000.0	1,900,000.0	1,950,000.0	2,000,000.0	2,060,000.0	2,120,000.0	2,180,000.0
実績値	467,000.0	509,390.0	928,900.0				
達成度	24.71	26.81	47.64				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
宿泊者数の増加が交流や地域活性化に繋がることから指標を設定		平成30年度目標値160万人に対し、令和10年度に客室数が約1.4倍になると推定し、最終目標値を230万人と設定。		新型コロナウイルス感染症の移動・入国制限の緩和により国内外の旅行者が増加した。			
② KPI 2 イベント集客数 (市内で開催するもの)							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	130,000.0	140,000.0	150,000.0	170,000.0	176,000.0	182,000.0	188,000.0
実績値	3,210.0	9,275.0	58,538.0				
達成度	2.47	6.63	39.03				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
本市でのイベント集客数を把握することによって、賑わいの創出や市民団体等の観光振興に寄与した度合を把握するため指標として設定		過去の実績と現状を考慮して10年後の目標を概ね20万人と設定		新型コロナウイルス感染症のイベントに関する制限の段階的な緩和により、イベントを実施できる状況になってきたことにより集客数も増加した。			
③ KPI 3 市内観光施設の利用者 (延べ数)							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	175,000.0	180,000.0	185,000.0	186,000.0	189,600.0	193,200.0	196,800.0
実績値	21,390.0	27,192.0	76,540.0				
達成度	12.22	15.11	41.37				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内にある観光交流プラザ (りんくうまち処)・観光おもてなしプラザ (泉佐野まち処)・泉佐野市観光情報センターでの調査実績数		平成29年度実績163千人に対し、各施設の推定増加率を考慮し、令和10年度の最終目標値を204千人と設定		新型コロナウイルス感染症の各種制限の段階的な緩和により国内外の旅行者が増加し、観光施設を訪れる旅行者が増加した。			
④ KPI 4 市内の年間外国人宿泊者数 (延べ数) 【暦年値】							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	1,250,000.0	1,300,000.0	1,350,000.0	1,400,000.0	1,460,000.0	1,520,000.0	1,580,000.0
実績値	173,000.0	54,660.0	150,310.0				
達成度	13.84	4.2	11.13				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
訪日外国人宿泊者数の増加が交流や地域活性化に繋がることから指標を設定		平成30年度で50万人を目標に設定しましたが、H26以降大幅に外国人宿泊者数が増加し、目標をはるかに上回る実績となりましたので、H27以降は過去の実績を踏まえ、目標値を設定		新型コロナウイルス感染症の入国制限が段階的に緩和されたことに、訪日外国人旅行者が増加した。			
⑤ KPI 5 市内観光施設の売上額							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	22,000,000.0	22,500,000.0	23,000,000.0	23,000,000.0	23,400,000.0	23,800,000.0	24,200,000.0
実績値	3,429,925.0	4,977,611.0	14,786,043.0				
達成度	15.59	22.12	64.29				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内にある観光交流プラザ (りんくうまち処)・観光おもてなしプラザ (泉佐野まち処)・泉佐野市観光情報センターでの売上額		泉佐野市及び特産品協定都市の特産品の販売を通じて、様々な観光資源をPRし、本市の魅力向上を目指す指針として目標値を設定		国内外の旅行者が増加し、観光施設等に訪れる方も多くなり、売上も増加した。			



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	新型コロナウイルス感染症の影響により、この数年、観光産業は非常に厳しい状況にあった。移動・入国制限の緩和により、国内外の旅行者数が回復傾向にあるものの、コロナ禍前までの回復には至っていない。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	国内外の旅行者が増加してきている状況になるので、観光振興に対するニーズは地域の事業者等を中心により一層高まりつつあり、コロナ禍前のような街の賑わいの復活を待ち望んでいる。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和に伴い、国内外の旅行を促すため、国も積極的に観光施策を展開している。
	合計点	(10点中) 4点	
	総合評価	D	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和に伴い、国内外の旅行者数も回復傾向にある。今後はウィズコロナ・アフターを見据えた新たな施策を展開していく必要がある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		D	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		D	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。引き続き、目標値の達成に努めること。ただし、再訪意欲につなげるため、来訪者の満足度アンケートの実施など、コロナ過前に回復するための魅力ある施策を検討すること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R4年度決算額			R5年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01037300	観光振興事業	22,324	148,906	20,755	0	B
2	01083379	関空立国デスティネーション化推進事業	7,967	62,174	0	0	B
合計			30,291	211,080	20,755	0	